

家庭数  平成27年11月10日 北九州市立中尾小学校 学校だより 臨時号 校長 中原 健 治	学校教育目標 「すこやかに おおらかに たくましく伸びる児童の育成」 ○ 明るく、素直で、豊かな心を持つ児童 ○ 自ら考え、知力を磨く児童 ○ 健康で、たくましい児童
---	--

平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成27年4月21日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語・算数・理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科・領域も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

① 学力調査結果と分析

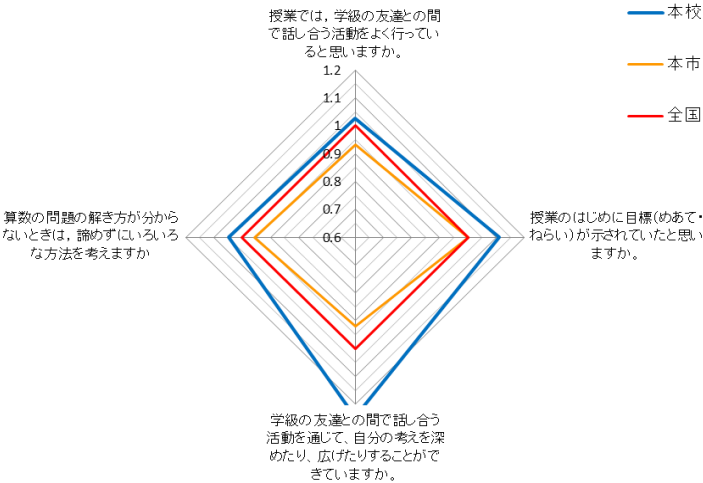
教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	学力の状況
国語A	・漢字を正しく読むことや、筆者が引用している言葉を書き抜く等の力がついている。	全国平均正答率との比較
		上回っている
国語B	・文章を読み、問題に即して、自分の考えを書くことや登場人物の考えを読みとることができた。	全国平均正答率との比較
		上回っている
算数A	・基礎的な四則計算の力がついており、「数と計算」領域での正答率が高い。	全国平均正答率との比較
		上回っている
算数B	・式だけでなく、答えの求め方を言葉で説明できる思考力や表現力の伸びがみられる。	全国平均正答率との比較
		上回っている
理科	・基礎的な内容の理解も十分に深まっている。 ・実験や観察の結果を基に話し合う活動を中心に指導を行い理解も深まっている。	全国平均正答率との比較
		上回っている

②児童質問紙による調査結果の概要

・学習の始めに本時のめあてがきちんと示され、学習のおわりにまとめや振り返りが行われていると感じている児童が多いです。大切なことなので、今後も学校全体で推進していきます。

・算数に限らず、学習の中で分からないことはじっくり考えると答えた児童が多いです。また、分からないときは、そのままにせず、友達や先生、お家の人に尋ねたりしていることはよい傾向です。

・学習の中で、話し合う場面を大切に指導してきたことが、質問紙の結果に表れています。

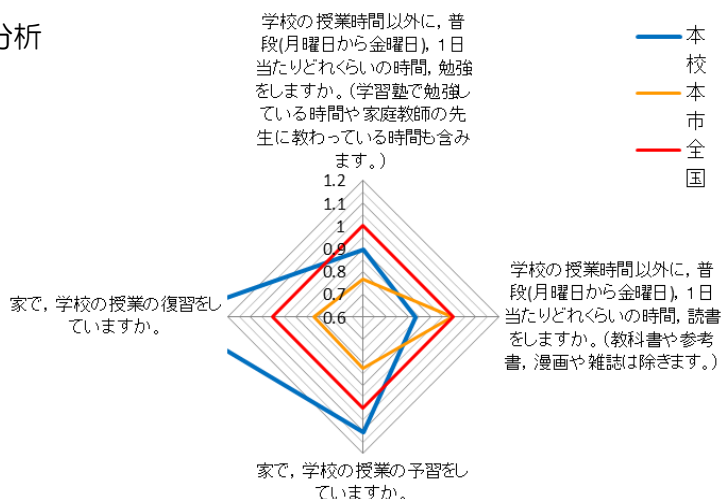


2. 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

① 家庭学習習慣に関する調査結果と分析

・家庭での学習時間や読書の時が、それほど多いわけではありません。しかし、全く学習しないという児童が少なく、きちんと家で学校の宿題をしている児童が多いです。

・家庭で、復習に力を入れているが、予習をする児童も増えています。学校で自学の取組を推進する中で、予習する児童も増えてきました。



② 生活習慣等に関する調査結果と分析

・携帯電話やスマートフォンについては、持っていないと30分以内の使用時間を合わせると児童の80%以上であり、全国や本市と比較して少ないと言えます。

・「自分には、よいところがあると思いますか。」という設問結果から、セルフエスティームが高いと言えます。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ◎ 学力向上のための特設時間の実施
 - ・中尾タイム(掃除時間後の10分間)で全校一斉に漢字や言葉の学習、計算などを行っています。
 - ・火曜日の音読タイム(朝自習)、木曜日の読書タイム(朝自習)、木曜日の視写タイム(中尾タイム)を実施しています。
 - ・休み時間に、その月の音読暗唱を校長・教頭・教務で聞き、合格シールや賞状を渡しています。
- ◎ 過去問題やアシストシートの活用
 - ・アシストシートやWEB問題を導入で使い、基礎基本の徹底を図っています。
 - ・アシストシートと過去問を冊子にして、冬休み・春休みの「宿題帳」にしています。答え合わせをするだけでなく、間違えた問題の書き直しもきちんとさせています。
- 学習指導の工夫
 - ・学習の際の話型やノートのとり方を、低学年、中・高学年の発達段階にあわせて、指導しています。
- 重点的な取組

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ◎ 宿題のスタンダード化(時間、学年別・教科別内容)
 - ・自主学習ノートの活用(1年生は2学期から)を進めています。
 - ・家庭学習時間を、低学年は30分以上、中学年は45分以上、上学年は60分以上を目安に推進しています。
 - ・「家庭学習チャレンジハンドブック」は、その活用状況を定期的に点検します。
 - ・冬休み・春休みの宿題に、過去問題やアシストシート、WEB問題を活用
- 全国学力・学習状況調査の課題と取組等を保護者へ周知
 - ・家庭教育学級や学年懇談会等で、結果と取組を説明し、家庭と連携し協力体制を整えるようにしています。